



若手社員の成長記録

若手社員のお二人に、これまでの成長とそれに至るまでの過程、今後の目標について伺いました。応援とともに、ぜひ皆さんの日々の業務の参考にしてみてください！



Your Times

vol.6

2023年11月発行



信託ホーム 不動産部 営業部
さとう ほたか
佐藤 帆高さん

入社後に最も成長したと感じること

一人ひとりのお客様に寄り添う

2022年12月の入社から10か月が経ち、自分の中でお客様への向き合い方が変わったと思っています。前職で営業をしていたときに比べ、今はお客様と接する場面が少ないので、その分こまめにご連絡をさせていただくようになりました。一人ひとりのお客様に寄り添っていきたいという思いが強くなったのが、成長したと感じるところです。

最も注力していること

時間をかけて、直接お話をする

以前、契約に至るまで3か月以上かかったお客様がいたのですが、最も喜んでいただける物件を選んでいただきたという思いで、良いところだけでなく悪いところも隠さず、時間をかけてご説明しました。すると、私にすべて任せたいと言ってくれたのです。電話だけでなく何度もお邪魔し、お話をさせていただきました。やはり直

接のやり取りだと、顔の表情を見て感じ取れる情報もあります。先程のお客様はお孫さんの写真を飾られていて、毎週のように遊びに来られていることを知ることができました。そこから、先方の求めている家の理想形をよりしっかりと思い描き、提案材料にすることができたのです。

上司や先輩からのアドバイス

何よりも、お客様を最優先に考える

入社してすぐの頃は、ただ数字だけを追っていました。しかしあるとき、河江課長から「お客様のためを思って、お客様のことを大事に考えたら、この物件にはならないよね」とご指導をいただき、大いに反省しました。今は数字につながらなくとも、お客様のことを大事にしていたら、いつかお客様の方から声がかかります。今の私の営業スタイルは、このときのお言葉が原点なのです。

今後の目標

お客様から声をかけてもらえるような人になる

お客様から仕事を頼まれる営業担当になることです。今現在、注力していることを続けていけば、いつか望んだ結果が出ると信じています。



心に残る お客様の およろこびの声

お客様からいただいた「およろこびの声」について、3名の職員からお話をいただきました。心が温くなるようなお話を、ぜひご覧ください。



ちびっこランド福住園
つるおか まなみ
鶴岡 麻奈未さん



万歳をしながら「来年度もまなみ先生が担任なんですわ!やったー!」

次年度も、もちあがり担任をすることがわかった際におっしゃっていただきました。息子さんよりもお母さんがよろこんでくださったことが嬉しくて、印象に残っています。また、このお言葉をいただいた後に息子さんもよろこんでくれました。いつも「お母さんとまなみ先生大好き」と言ってくれて、お母さんとセットにしてくれることが「とてもありがたいなあ」と感じています。

お言葉をいただいた理由

恥ずかしがり屋さんの子だったので、息子さんがとにかく安心して過ごせるように「そのままのあなたでいいんだよ」という気持ちで接していました。お母さんとは会話の中で、息子の小さな成長を共有し、頑張っている経緯や面白エピソードを日々伝えつつコミュニケーションをとっていき、話しやすいと感じてもらえるように努めました。「その思いが伝わったからだといいな……」と思います。

今後の目標

子どもたちが安心して過ごすことができ、保護者の方が安心して「いつきます!」と預けることができるような保育士になりたいと思います。それを実現するために、常に穏やかな心でいられるように頑張ります!



ちびっこランド福住園
おおかわ りの
大川 理乃さん

「先生、本当にありがとうございました!」

運動会が終わり、お子さんを見送る際にいただいた言葉です。

お言葉をいただいた理由

その園児は入園したときから一緒に遊ぶ機会が多く、保護者の方とも園児のことをお話しする機会がたびたびあったためかと思います。

今後の目標

これからもこのような言葉をたくさんいただけるよう、より一層子どもたちや保護者との関わりを大切にしていきたいことが目標です。



ちびっこランド福住園
きくち みさと
菊地 美里さん

「今日も美味しかったよ」「いつもありがとう」

子どもたちが食べ終えた食器を下げに厨房に来た際、伝えてくれました。また、給食試食会でいただいたアンケートにも同様のお言葉が書いてあり、嬉しく思いました。

お言葉をいただいた理由

窓越しから、一生懸命に給食作りをしている調理員の姿を見て、ありがとうの気持ちを伝えてくれたのかなと思います。

今後の目標

食事は子どもたちの成長に直接的に関わることなので、給食室みんな協力して、安心して安全な美味しい給食やおやつ作りを目標に、頑張りたいと思います。



縁の下の力持ちに注目!

「総務課って普段どんな仕事をしているの?」「どのようなことにやりがいを感じる?」皆さんの疑問に、いつも笑顔で活躍されている高橋さんに答えていただきました!



信託ホーム 総務課 たかはし 高橋 ゆかりさん

銀行の手続きを中心に、来客対応・電話対応やパソコンでの入力作業などを担当しています。

今だから語る、「ココが大変!」

専業主婦だった期間が長く、入社してはじめてパソコンを扱ったため、操作に苦労しました。最初は、電源を入れるところから教えていただいたくらいです(笑)なかなか慣れず、時間もかかり何回も質問してしまっただけですが、皆さん何回でも教えてくださいました。事務所でそれ違う方や、今から出かけようという方にも、わからないところを「助けて!」とお願いすると、立ち止まって教えてくださいました。あのときは本当に皆さんにお世話になりました。今は、また新しい入力内容にチャレンジしています。なかなかパツパツといかない私ですが、いつも



教えてくださいます総務の方をはじめ、皆さんが「いつかはできるから」と広い心で応援し励ましてくださるため、懸命に頑張っています。

事務の仕事の、「やりがいはココ!」

「この物件はありますか?」とお問い合わせいただいたお客様が成約につながったときや、電話応対に対してお客様からお褒めの言葉をいただいたときは、とても嬉しく思います。また、小さなことでも、皆さんのお役に立てたときにやりがいを感じます。「恩返し」ではありませんが、私にできることがあれば、進んでお手伝いをするように心がけています。

皆に伝えたい、「私の目標」

今までの人生で最高記録となる勤務6年目を迎えることができたのは、皆さんのおかげであり、感謝の気持ちでいっぱいです。信託ホームに入社できて本当に良かったと思っています。これからも笑顔を忘れず、お客様に喜んでいただける接客を目指すと同時に、皆さんから必要とされる存在になれるよう、健康に気をつけて、1日1日を大切に頑張りたいと思っています。



ベテラン社員の体験談

皆さんは仕事に「やりがい」を感じていますか? 畠山さんが体験した、忙しい中での心温まるエピソード、そして大切にしている考え方についての特集です!

信託ホーム 建築部 課長 はたけ やま あかし 畠山 証さん

24時間365日体制

アフター/クレーム担当として、職種柄24時間365日、GW、お盆、正月関係なくかかってくる電話に対応しなければなりません。朝5時に雨漏れの電話が入ったり、夜20時にユニットバスの凍結で千歳に走ったり。緊急性の高い雨漏れ、凍結、ピンホール、玄関電気錠による締め出しなど、急行しなければならないケースもあり、重圧で心が折れそうになったことが何度あります。

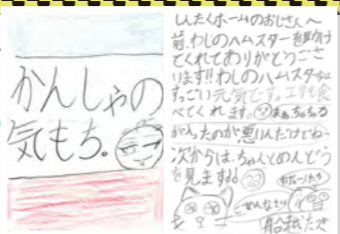


ON、OFFの切り替え

重要なのは、**ストレスを溜めないこと**です。夏場は、天気の良い休日は公園に出かけ、インラインスケートで汗を流し、悪天候の日には、Netflixで洋画を観ながら昼から酒を飲み、ストレスの発散をしています。

心 温まるエピソード

2022年12月、「**ペットのハムスターが床下に迷い込んだので救出してほしい**」という電話が舞い込みました。それを聞き、「それ、絶対無理!」と思いました。床下は30cmほどの空間しかなく、匍匐前進しか進めないため、動きの速いハムスターを捕まえるのは困難です。電話で状況確認をしたところ、排水管に潜り込み、途中でひっかかっているとのことでした。ガス屋、設備屋、クラシアンに全てに断られ、最後の頼みの綱での依頼であることがわかり、**次の予定をキャンセルし急行しました**。現場に到着すると、家族全員が暗い表情でたたずんでいました。聞くど2日が経過し、おそらく死んでいると思うけど、このまま放置しておくのは忍びないので床下から出してあげたい」と、排水管は直管ではなく、エルボーの角で引っかかっているため、部下が床下に潜り管を切断しました。ハムスターは意識のない状態でグッタリしていましたが、硬直していませんでしたので、人差し指で心臓マッサージを試みました。すると、5分が経過した頃、耳がピクッと一瞬動いたため、すぐに洗面器にお湯をため、その中でマッサージを繰り返していると、**何と蘇生したのです**。ご家族全員が歓喜の声をあげ、大喜びしてくれました。その後、ご主人が「お代はいくらですか?」と尋ねてきましたが、「数ある建築会社の中で、人生で一番高い住宅という買い物を当社でしていただいたので、お代は結構です」と答え、現場を後にしました。その後、ご主人が突然来社し、菓子折りとお子様からの手紙を受け取りました。それを見て改めて**感動しました**。小さな命ですが、同じ命には変わらず、人命救助ならぬハムスター命救助ができたことを、光栄に思います。



お客様からの手紙

座右の銘 積小為大

小さなことをばかにせず、お客様の立場に立ち、毎日コツコツ努力をすること。その積み重ねが集大成としてお客様の評価、喜びに結びつくことと信じ、これからも精進していきたいと思っています。

これまでに「成長した」と感じること

クラスの担任として責任感の芽生え

今まで担任として働いたことがなかったのですが、ちびっランドで初めてクラスを任せられました。これまでより、自分自身の行動すべてに責任がともなうのでプレッシャーを感じますが、今までにない経験から、試行錯誤しながらも成長できていると思います。当初はクラス全体を踏まえた上で保育内容を考えるなど、一度もしたことがないのでどうすればいいのかわからず、とても悩みました。子どもたちの興味にそって「この遊びをやってみよう」「この話を子どもたちにしてみよう」など、自分からアイデアを出していき、熟考した後、入念に準備しなければならないため、本当に苦しく感じました。ですが子どもたちが楽しんでいる姿を見ると、頑張ったよかったと心から思います。



ちびっランド福住園 なかじま わかこ 中島 和佳子さん

「成長する」ために頑張ったこと

入念に準備することの大切さを知る

今までコロナ禍の影響で制限されていたこともあり、本年度から一気に行事が増えることになりました。私が担当している年長クラスでは、皆で一日外出し、夜ごはんを食べて帰るというお楽しみ会やバス遠足など、いろいろな行事を一から考えるという今まで経験したことがない任務を任せられました。行事の内容や段取りを私が中心となって決めなければならないのですが「何から手をつければいいのかわからない」という状態でした。いろいろ

な先生に聞きながら、何回も当日の流れを確認しました。私は心配性で、入念な準備をしておかなければ不安になってしまう性分のため、準備期間がとても苦しく、大変に感じました。ただ、当日になって子どもたちと外出すると、不安もなく予定どおりに行事を楽しめました。「頑張った準備すれば必ずうまくいくのだ!」という自信につながりました。



上司や先輩からのアドバイス

質問できる雰囲気が成長につながる

こちらの園の先生はやさしい方が多く、わからないことがあった場合でも、とても聞きやすい雰囲気があります。前の職場ではなかなか質問しにくく、ひとりで抱え込んでしまうこともありました。今の職場では、担任になり仕事自体は忙しくなりましたが、わからないことをすぐに聞くという基本的なことができています。特に昨年度からスーパーアドバイザーとして入られた鶴

岡麻奈未先生には、さまざまなことを教えていただき、いつも元気をもらっています。園に入ったばかりの頃、緊張していた私にやさしく話しかけてくださったことは忘れません。今は別のクラスですが、鶴岡先生は「去年はこの行事どのように行っていたのですか」「このようなことは子どもたちできますか」など、ちょっとした質問にもやさしく答えてくださり、とても感謝しています。

今後の目標

卒園まで、子どもたちとの時間を大切にしたい

今、受け持っている年長のクラスの子もたちと一緒に過ごせるのは、卒園する3月までの期間しかありません。半年を切ってしまいましたが、最後まで一緒に楽しんで、笑顔で3月の卒園式を迎えられたらと思っています。年長としての行事も、園としての行事も、まだまだたくさんありますので、一つひとつ、「どのようなものにしたら子どもたちが楽しめるか」をしっかり考えて、大切にしていきたいと思っています。

